

輸出事業計画

申請者名：サンキョーミート食肉輸出推進コンソーシアム

品目：牛肉/豚肉

1. 輸出における現状と課題

現状

輸出先国での鹿児島産和牛、ジャパंकオリティーとしての豚肉の認知度は向上しつつある
牛肉に関しては、輸出先国において牛肉の多彩な調理・提供方法があるにも関わらず、提供方法としてのステーキ、使用部位としてのロース肉に需要はほぼ限定されている。

課題

輸出先国の最終実需家（レストラン・小売店）において一定の需要が見込める場合にはパーツそのもの（塊肉）で購買したうえで、バックヤードやキッチン等で細分化して商品とする方法が最も経済的である。

しかしながら、安定した需要が見込めない段階でのこの方式は、売れ残りリスクを生じさせ経済的とは言えず、購買への購入ハードルを上げる事になる。また、より安価なパーツを利用したメニュー提案が出来ておらず需要はロース肉に偏っている。

2. 輸出事業計画の取組内容

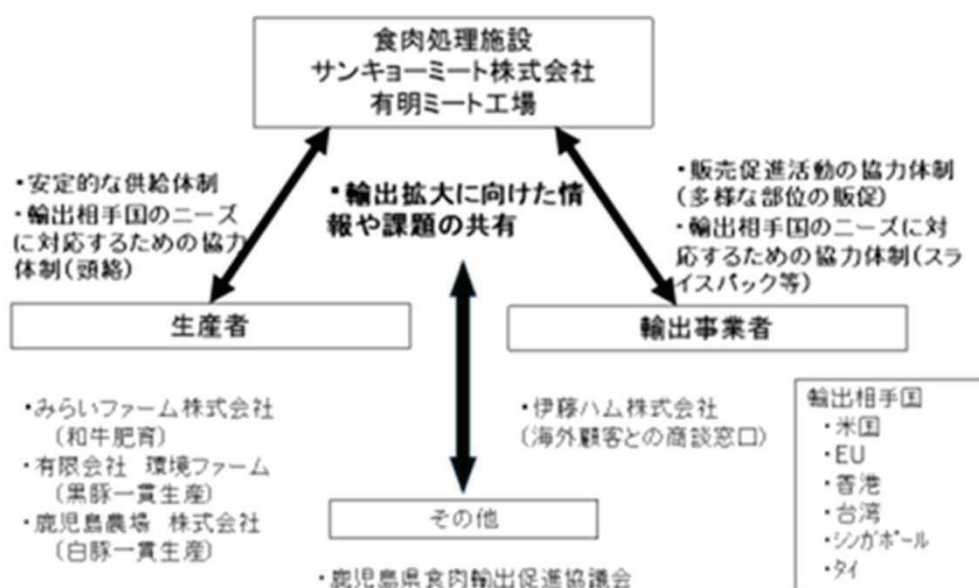
輸出先国の食に合わせたメニュー
提案

最終実需化が使いやすい形態
での輸出

輸出先国への多様な部位の提案

- * 輸出先国でのニーズの深掘り
- * 利用をためらう潜在需要者の
購入ハードルを下げる
- * 多様な部位の輸出

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



輸出事業計画

申請者名：サンキョーミート食肉輸出推進コンソーシアム

品目：牛肉/豚肉

4. 輸出目標額

	牛肉		豚肉	
	現状 (令和2年度)	目標年 (令和5年度)	現状 (令和2年度)	目標年 (令和5年度)
輸出額（億円）	22.3	37.2	1.3	1.6
輸出量（t）	400	520	108	150
輸出先国	米国・EU・香港・台湾・英国・カナダ・豪州・ ニュージーランド・マカオ・シンガポール・タイ・ベト ナム・ブラジル・アルゼンチン・ウルグアイ		香港・シンガポール・タイ	